

田立の銘茶が最高位に輝く

茶振興共進会  
県知事賞・協議会長賞を受賞



長野県茶の共進会の審査風景

第33回長野県茶の共進会が、7月25日下伊那郡高森町の長野県南信農業試験場で開催され、田立元組の長瀬浩さんのお茶が最高位の県知事賞に選ばれました。また、田立塚野の林正明さんのお茶も県茶振興協議会長賞で一等賞を受賞しました。

この共進会は県内で生産される茶の品質向上を図り、地域の茶業振興を推進することを目的に、毎年開催されているもので、今年も下伊那、木曾地域の生産者の皆さんから68点の出品がありました。

南木曾町からは6点が出品され、右記の二人がそれぞれ見事な成績を収められました。

町の特産である美味しいお茶づくりに、一層の励みとなる快茶でした。

写真でみる  
できごと

「なぎそブランド」をめざして

信州大学と共同で  
地域ブランド研究へ



られることになりま

す。地域ブランドを研究するきっかけは、今年春の自立推進委員会の講演会で中嶋先生に講師をお願いしたことで、町内の観光資源や産業を活かした地域ブランド作りに向けて信州大学の協力を得て研究を進めることになったものです。

信州大学中嶋間多教授（人文文学部、応用情報学）とゼミの学生のみなさんによる地域ブランド開発のための調査が実施されています。6月から7月にかけては、ロクロや笠、木工など伝統地場産業の製作の様子を視察したり商工、観光関係のみなさんと意見交換を行ったりしました。「地域ブランド」は、地域名を活かしたイメージ的なブランドと、地域ならではの具体的な商品やサービス提供によるブランド作りという2つの大きな柱を中心に作業が進め

られることになりま



木のめぐりを知って欲しいから

## 木材関係業者が 木工作品づくりに協力



たくさんの木材を提供していただきました

木材関連産業の振興と後継者づくりを目的に町内の木材・建築業を営む方々で構成されたウッド・クリエイティブ・ナギソ（以下WCN）の会員と木工関係従事者有志のみなさんと、夏休みの小学生たちの木工作品づくりに協力するため、作品の材料となる木材を町内各小学校に配布しました。

WCNでは、南木曾町小学木工造形コンクールを毎年開催しており、子供達が地元の特産である木を使ったモノづくりを体験できるよう協力しています。

今年もWCNのみなさんに提供していただいた木材で、立派な作品ができることを期待します。



## スタート！長久手町との交流

### 長久手町との交流会議 子ども達の林業体験行われる

長久手町の諸団体の皆さんが7月27日に南木曾町へ来町し、南木曾町の住民のみなさんと交流会議を行いました。

来町したのは長久手町の11団体30名のみなさんで、南木曾町と長久手町が交流を進めようと計画して



#### 長久手町のみなさんとの 交流会を開催



和やかに開催され、南木曾側からの歓迎の挨拶にこたえて、田中憲二長久手町経営企画部長が代表して「住民同士が実際に友好を深められるような交流を行いたい。長久手側としては当面子ども達の体験事業や観光的なつながりなどを希望している。」と挨拶。

このあと、参加者が自己紹介を兼ねて、町やそれぞれの団体の活動状況を紹介し、名刺交換や具体的な交流に向けた懇談が行われました。

長久手町との交流では、当面10月に長久手町で行われる交流イベントに、町内の物産や花馬保存会が参加したりファミリーズマーケットなどへ参加する予定になっています。また、観光関係者の協力

いる中で、住民同士が直接顔をあわせて交流を深められようにとの企画から実施されました。

会議は、南木曾会館ホールで昼食を挟んで

のもとに南木曾へ来てもらえるような観光的なサービスの検討がされています。

#### 長久手町の子ども達が林業体験

長久手町との交流事業の一環として、長久手町の小学生30名が夏休みを利用して南木曾で林業に関わる体験を行いました。5・6年生を中心としたメンバーが、簡易製材体験、下草刈、桃介橋・木地師の里見学などを行い、山作りや林業の実際の作業も行うなど貴重な体験となりました。実施にあたっては、森林管理署ほか町内の大勢のみなさんにご協力いただきました。ありがとうございました。

